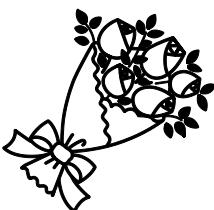


## NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュースNo.24

平成 16 年 4 月から、あかねの里の共同住宅とデイサービス事業を始め丸6年が経ちました。皆様の長年にわたるご援助を感謝申し上げ、6 月の総会には多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。それに先立ち、5 月 30 日の「サンサンまつり」で皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



この日は、秋田町長が退任され新町長を選ぶ三郷町長選挙の投票日でもあります。

今回は、秋田町長の退任にあたり、当法人としての思い出を書いてみます。

NPO 三郷サンサンハウスの生みの親である「サンサン会」の活動を平成 3 年から続ける中、毎年、三郷町長に「高齢者用ケア付き住宅」の建設を要望してきましたが、秋田氏が町長に就任されはじめて「民間でするなら支援したい」の前向き的回答をいただきました。

主婦や定年退職者が中心のサンサン会が自ら事業をするとは夢にも思っていなかたものの、目の前に迫った高齢期を考え、町長の回答に後押しされて NPO を立ち上げました。その後何かとご支援いただいたことはその都度皆様にご報告してまいりました。

また、3 年余り職員やボランティアや家主様の協力で継続してきた「サンサンサロン」が昨年秋から「三郷町地域支え合いデイハウス」として認めて頂くことになりました。

秋田町長及び職員の皆様に、これまで頂いたご支援に心から感謝申し上げますとともに、新町長が町民の自発的な活動を積極的に支援する町政を引きつがれることを切望致します。

理事長 上野 登志子

## ヘルパーステーション

**TEL 32-3535**

ヘルパーになって3年になります。  
その間にいろいろなお宅に訪問させていただきました。  
最初の訪問では不安そうな方が、回を重ねるごとに心を開いてきて下さるように感じるのが嬉しいです。

訪問したときにお顔を見て、お元気そうだとホッとし、元気がない時は「体調が悪いのかな」「何かあったのかな」と思い、少しお話をしたり、時にはそっと様子を見ます。

帰る時には「また来てや」「次はいつ来るの」「気をつけて帰って」など言ってくださいます。



NPO 法人  
「三郷サンサンハウス」  
三郷町三室 2 丁目 5-22  
Tel/0745-32-3535  
Fax/0745-32-3519  
理事長 上野登志子  
2010.06.01

3年前、歩行訓練や入浴のお手伝いをさせていただいていた方が、今ではご自身で入浴、歩行も杖を持たずに外出することが出来るようになりました。

元気だった方が病氣から歩行困難になり腰の圧迫骨折では痛みから、ベッドで横になるのさえ苦しまれ、眠れない日が続いておられました。その時から、その方は風呂に入りたいけど恐怖をいだいておられましたので、シャワー浴で1年ほど対応していました。ヘルパー間ではどうすれば安心して入浴いただけるか話し合った結果、ボードを使ってみたらどうかという提案がでました。ボードを使って入浴していただいたところ、少し不安でしたがスムーズにいき大変、喜んで下さいました。今では自信を持って入浴されています。

一人では思いつかなかったことを何人かで話し合うと問題点や解決策が見つかることがあります。悩んで落ち込むこともあります、ヘルパー同士、気軽に話し合え、相談できる今の仲間を大切にして少しでもよいケアを提供していきたいと思います。

中山和余(介護福祉士)



## 居宅介護支援事業所

TEL 32-3535

Uさんは、91歳です。5年前にアルツハイマー病と診断されました。堺市のご自宅で独居生活をされていましたが、途中から当事大学生のお孫さんと約10年間一緒に暮らしておられました。その間は堺市と三郷町の長女さん宅を隔週おきに行き来しながら両方の介護保険を利用されていました。それは、本人さんにとって気分転換になっていたようです。しかし認知症の進行と足が弱った事に加え、お孫さんの結婚を機に長女さん宅に転居されました。

今は、認知症対応型のデイサービスを利用して、長女さん家族と穏やかに暮らしておられます。長女さんのプライベートな時間を大切にして、また、これまでの家族さんの生活を維持する為に、毎月ショートステイも利用して頂いています。

長女さんから感想をお聞きしましたのでご紹介します。

中川香代子



母との同居が始って2年弱になります。

未だに毎晩夫が帰宅すると、「おじゃましてます」と答えます。娘時代に苦労した母が最後まで遠慮しているのかと思うと、不憫で大事にしてあげようと思うのですが、二人で家にいると、つい怒ってしまう事が多く反省しています。

母が「あかねの里」に行っている間は、自由に外出もでき自分のペースで過ごす事が出来るので、帰ってきた時はゆったりとした気分で迎えられます。

母も大好きなドライブに連れて行ってもらったり、ゲームをして楽しそうにしている

る様子が連絡帳に詳しく記されており、本当にありがとうございます。

今まで、歌は苦手で聞いたことがなかったのに、最近は一緒に口ずさむこともあります、  
ディのお陰と感謝しています。先日もドアホンが鳴り「お迎えに来てくれはったよ。



 どこへ行くのかな?」と言うと「あかねか?」と答えました。ずっと大阪で利用していた所の名前を言っていたのに、いつの間にか「あかね」が頭に入っていたのです。

四季のうつろい感じ、脳を刺激させながら日々を過ごすことで、まだまだ活性化されているようで認知症の進行も抑える事ができているのかなあと思います。

これからも皆様に助けて頂きながら、少しでも永く今の生活を  
続けられたらいいなと思っております。スタッフの皆様、私の愚痴を聞いて下さる皆  
様に感謝です。 M.Y

M.Y

## 小規模多機能ホーム 萌の里

**TEL 33-3555**

○○○○○○○ 新職員自己紹介 ○○○○○○○

4月から、萌の里で勤務させて頂いています。父親が脳梗塞で倒れて20年近く、母親と共に父親の介護を家族で助け合ってしています。介護は端から見ているだけでは到底わからないと、経験して初めて介護の大変さが分かりました。親の介護の経験だけで出来る仕事ではないと、サービス介助士準2級講座を終了してから勤務させて頂きました。最初は萌の里のスタッフと利用者さんとの関係に、ビックリするような事ばかりでした。利用者さんが、“私なんでもするから言ってや” “私にまかせて” とスタッフと一緒にになって手伝って下さり、家族のような友達のような…これが萌の里なんだと思いました。今月末からヘルパー2級講座を受講します。頑張って勉強もしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

介護士 濱崎治代

oooooooooooooooooooo

会の回覧版に毎月“萌の里情  
て頂けるようになって一年が  
春には奈良県からAEDを設  
いましたので、地域の方にい  
時に使って頂けたらと思いま  
信貴ヶ丘の高齢者の家あかね  
設置されましたが、現在、三郷  
ED設置場所が分かるように  
威密着型介護事業所共同でマ  
ニ取り組んでいるところで

自治会からは練習用パットを購入してこのAEDの扱いに慣れておきたいとの意向も聞いております。これからも、いろんな場面で地域との関係が密にな



っていき、地域にあって良かったと思っていただける事業所になっていけますように（祈）

管理者 藤みわこ

000000000000000000



夕方の浮腫対策の運動タイム



グランドゴルフ観戦へ



### “あづまや” 情報

5月から新しく奈良県農民連北和センターが産直野菜の販売を始めて下さいました。

「木曜日は財布持って来ないと」とおっしゃてる幼稚園の送迎のお母さんの言葉も聞かれるようになっています。

## たすけあいの会

TEL32—3535

2010年4月から、たすけあい事業の担当をヘルパーステーションが担うことになりました。利用者の皆さんには、窓口の変更で色々ご迷惑をおかけいたしますが、ヘルパーステーションが関わることで、私共のヘルパーステーションをご利用になっておられる方々へのサービスがより充実し、日々の生活支援が受けやすくなることを喜ばしく思っています。

たすけあいの会では、介護保険では受けられないサービスを沢山取り揃えております。介護保険ではできないこと、ちょっと熱などで家事が出来ない時など、困っているときには御相談頂ければ頑張ります。

なお、たすけあいの会で支援に関わって頂ける方も募集中です。併せてよろしくお願ひ致します。

藤本和子( 管理者 )



## サンサンサロン

TEL 50-7970

サンサンサロンは月、火、木の週3回開所しておりますが、今年の2月から火曜日は美松ヶ丘のY様宅を利用させていただいています。多くのボランティアの皆様にささえいただき、古布を利用しての小物作りや誕生会、外出等で楽しんでいただいております。

そんな中、共同募金会より助成を受け、狭い場所でも活用できる下肢筋力機能訓練器具を購入しました。また体操など取り入れて介護予防に取り組んでいます。

三郷町からの助成により今年4月から職員を1名増員し、楽しみや生活、健康管理等の支援を心がけ、気軽に立ち寄れるサロン、楽しいサロン、充実した時間が保てるよう努力してまいりますので、ボランティアの方々のご協力を宜しくお願い致します。

山岸 千江美



下肢筋力機能訓練器「イージー・ウォーク」

山

サロンの外出先での様子

### 2月 道明寺天満宮の梅見



道明寺天満宮にて

様々な種類の梅の香りに包まれて 蜜蜂もいそがしそうに飛びかっていました。黄色い小さな蝶々が二匹たわむれる天満宮の境内、見事なしだれ梅は忘れていた故郷の庭のピンクのしだれ梅を思い出させてくれました。

長いすに腰かけ、春の陽射を浴びてみんなで少しばかり早い春を満喫しました。



### 4月 奈良産業大学の花見

お弁当を作つて貰い全員で出かけました。美しいさくらの花びら拾い。子供みたいにはしゃぎながら一時を過ごしました。

前田ひろみ

## ディサービス あかねの里

TEL31-3536

今年は、いつまでも寒い日が続いたおかげで桜の花が長く楽しめました。すこし肌寒い日には高田川や、信貴山へドライブに出かけました。暖かい日にはお弁当を持って毎年恒例の三室山のふもとへ出かけました。桜の木の下で調理員さん手作りのお弁当を食べるのはとても気持ちがよかったです。テレビに、デジタルカメラをつなげて、その日撮った写真を見られるようになり『写真鑑賞会』をしました。

テレビ画面にご自分の姿が映りビックリされたり恥ずかしがられたり、帰って来てからも盛り上がったお花見でした。

これからも、つつじやバラなど花々を楽しみたいと思います。

山田志保



高田川にて



志都美神社にて

## サンサン福祉タクシー



診療所前にて  
(ご本人もお花もお綺麗です)

TEL32-3535

写真は、N.H.さんです。通院のことを「通勤」と仰って、ヘルパーを笑わせて頂けるなど、楽しい方です。

ご本人様自身「病気の百貨店や」と仰るほど、受診科も多いのですが、車中の会話の端々に「笑い飛ばし」のプラス思考が垣間見られるので、支援をする我々も自然に元気を頂いているこの頃です。

濱 正之(管理者)

# 高齢者の家「あかねの里」

TEL31-3536

2月にはA様とI様、3月にはT様がそれぞれ誕生日を迎られました。A様とI様はあかねの里ができた当初から入居頂いていますので、今年で5回目です。いつもご家族やご友人からのお祝いのお花に囲まれ、ささやかですがケーキとお茶でお祝いします。T様が歌ってくださるバーステーソングにみんなが合わせて口ずさむ、とても和やかなひとときです。2ヶ月に一度行く外食も「どの洋服着ていこうかしら」「今度は何食べさせてくれるの」・・・と、とても楽しみにして頂いています。

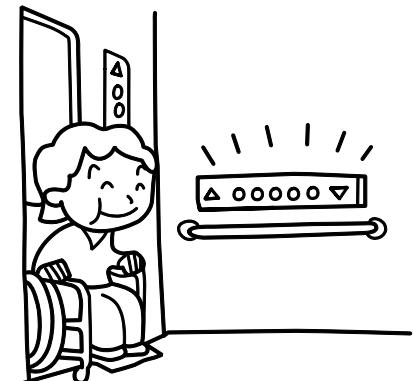


左からTさんAさんMさんです

先日、M様に家族さんの協力もあって、今までご自宅で祭っておられた神様をあかねの里の自室でも祭ってもらえることになり、ご本人もとても喜んでおられます。

共同住宅ではありますが、これからも各人がご自分の趣味や生活を大切にして頂けるよう支援してまいりたいと思います

春木ひとみ



## 研修委員会報告

法人職員の介護スキル向上などをめざして、研修委員会が始動しました。

研修計画は年間6回、隔月の開催です。5月16日・23日(日)には第1回介護技術車椅子介助を中心公園で演習しました。今後は、ボランティアさんを対象にした安全な介護(題名未定)も計画したいと考えています。実のある研修にして、利用者さんへの介護の質を上げて行きたいと存じます。

濱 正之(研修委員長)

今回から、紙面初登場の「訪問介護員養成研修事業」です。



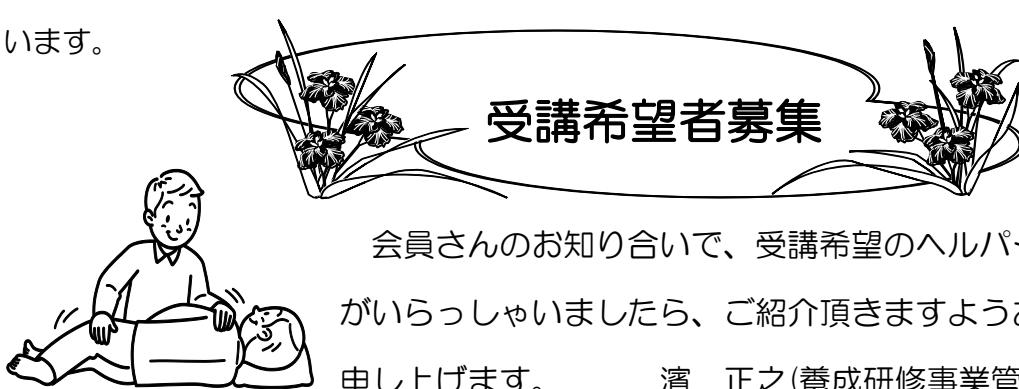
写真は、近鉄信貴山下の踏切で、車椅子の介助訓練をしている研修生の様子です。養成課程には車椅子を中心とした「全身性課程」と視覚障がい者介助資格の「視覚課程」、知的・精神障がい者介助資格の「行動援護課程」があります。

## 踏切は高い技術を要する介助です

これらの課程を総称して、ガイドヘルパー養成研修と言います。奈良県知事の事業指定を受けて行いますが、対象は2級ホームヘルパー以上の有資格者です。

サンサンハウスのヘルパーも順次、資格を取得しています。

今年度からは、法人内に有資格者もある程度育ちましたので、三郷・平群・斑鳩・王寺の各町との間に、障がい者の支援事業である「地域居宅生活支援事業移動支援事業」の委託契約を締結して、障がい者の余暇や社会参加の際の移動支援について、新たにご利用になれるサービスをヘルパーステーションと福祉タクシーにて開始しています。



会員さんのお知り合いで、受講希望のヘルパーさんがいらっしゃいましたら、ご紹介頂きますようお願い申し上げます。 濱 正之(養成研修事業管理者)